

みずほCustomer Desk Report 2016/09/05 号(As of 2016/09/02)

【昨日の市況概要】

| | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY | USD/CHF | GBP/USD | AUD/USD |
|--|--------------|---------|---------|---------|--------------|---------|
| TKY 9:00AM | 103.26 | 1.1198 | 115.61 | 0.9800 | 1.3277 | 0.7551 |
| SYD-NY High | 104.32 | 1.1255 | 116.37 | 0.9819 | 1.3352 | 0.7616 |
| SYD-NY Low | 102.80 | 1.1151 | 115.53 | 0.9740 | 1.3252 | 0.7536 |
| NY 5:00 PM | 103.99 | 1.1157 | 116.00 | 0.9802 | 1.3290 | 0.7573 |
| USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl) | 12.825/13.45 | | △25RR | 0.130 | Yen Put Over | |

| | | | | | | |
|---------------|-----------|--------|------|------------|-----------|--------|
| NY DOW | 18,491.96 | 72.66 | 債券市場 | 日本2年債 | -0.1790 | 0.3bp |
| NASDAQ | 5,249.90 | 22.69 | | 日本10年債 | -0.0330 | 1.5bp |
| S&P | 2,179.98 | 9.12 | | 米国2年債 | 0.7858 | 0.4bp |
| 日経平均 | 16,925.68 | ▲ 1.16 | | 米国5年債 | 1.1914 | 1.2bp |
| TOPIX | 1,340.76 | 3.38 | | 米国10年債 | 1.6024 | 3.4bp |
| シカゴ日経先物 | 17,085 | 170.00 | | 独10年債 | -0.0430 | 2.3bp |
| ロンドンFT | 6,894.60 | 148.63 | | 英10年債 | 0.7270 | 5.9bp |
| DAX | 10,683.82 | 149.51 | | 豪10年債 | 1.8530 | 1.0bp |
| ハンセン指数 | 23,266.70 | 104.36 | | 為替市況 | USD/CNH | 6.6984 |
| 上海総合 | 3,067.35 | 4.05 | | ドルインデックス | 95.84 | 0.19 |
| USDCNY 3M Vol | 12.49 | ▲0.24% | 商品市況 | CRB指数 | 179.994 | 1.78 |
| USDCNY 6M Vol | 11.74 | ▲0.13% | | NY金 | 1,326.700 | 9.60 |
| EURJPY 3M Vol | 11.15 | ▲0.23% | | WTI | 44.440 | 1.28 |
| EURJPY 6M Vol | 11.03 | ▲0.15% | | Dubai Spot | 42.13 | ▲1.25 |

東京 東京時間、103.26レベルでオープンしたドル円は、前日北米時間に発表された米8月ISM製造業景況指数が節目となる50を下回り、日経平均株価が前日比マイナスで寄り付いたことを受け、売りが先行し103.13まで下落。しかしながら、この日の北米時間に発表される米8月雇用統計を控える中で、ポジションを一方に傾ける動きとはならず、103円台前半で動意乏しく推移。その後、日経平均が値を切り返す動きに合わせ、ドル円も103.50まで反発し、103.49レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)

ロンドン ロンドン時間のドル円は103円台半ばで小動き。朝方は103.49レベルでオープン。米8月雇用統計を目前にして全体的に取引が手控えられる展開となり、103円台半ばで横ばい推移し、103.50レベルでNYへ渡った。ボンドも指標を控え1.32台後半で小動き。朝方は1.3278レベルでオープンし、ロンドン時間序盤の緩やかなドル買いを受け下値1.3252まで下落し、1.3273レベルでNYへ渡った。ロンドン時間朝方にブリティッシュ大統領がOPECとロシアが原油の増産凍結協議で合意に達することを望み、伊の参加をめぐる意見の相違が解消されるとの見方を示し、これを受け Brent、WTI原油共に上昇したが、為替市場への影響は限定的となった。(ロンドンフリー 日比野00531 444 179)

ニューヨーク NY時間のドル円は103.50レベルでオープン。朝方は注目の米8月雇用統計で、非農業部門雇用者数変化が前回分が上方修正された一方、予想180K増に対し151K増と下振れし、失業率も4.8%へ減少すると予想されていたが結果は4.9%となったことからドル売りが優勢となり、102.80まで下落する。しかし、サポートと意識されていたこのレベルでぴったりと止まつたことから買戻しが強まり、また日本のファンド勢がドル円のロングポジションを積み増しているとの話もあり、市場は引き続き今月のFedの利上げを予想しているようで、米10年債利回りが最近のレンジの上限である1.60%を上抜けする展開に、ドル円は昨日の高値104.00を抜け、104.32まで上伸する。午後は米連休を控えた調整売りや、米金利が一段落する展開に103.84まで反落するが、週明けの黒田日銀総裁講演を控え追加緩和に対する期待も強く、ドル円は底堅く推移し、103.99レベルでクローズした。一方、ユーロ円は、1.1191レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計結果を受けたドル売りに1.1255まで上昇するが、その後はドル買いが優勢となつたことから1.1151まで反落する。午後は週末を控え、1.1160付近で狭いレンジ内の推移が続き、1.1157レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:佐藤・西谷

【昨日の指標等】

| Date | Time | Event | 結果 | 予想 |
|------|-------|---------------------|--------------|-----------|
| 9月2日 | 21:30 | 米 貿易収支 | 7月 -\$39.5B | -\$41.5B |
| | 21:30 | 米 非農業部門雇用者数変化 | 8月 151K | 180K |
| | 21:30 | 米 失業率 | 8月 4.9% | 4.8% |
| | 21:30 | 米 平均時給(前月比/前年比) | 8月 0.1%/2.4% | 0.2%/2.5% |
| | 23:00 | 米 耐久財受注(確報、前月比) | 7月 4.4% | 4.4% |
| | 2:00 | 米 ラッカーリッチモンド連銀総裁 講演 | - | - |

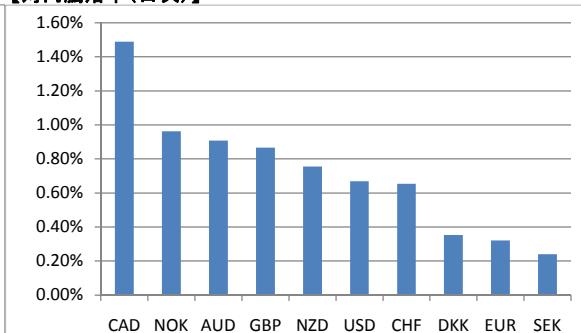
【本日の予定】

| Date | Event | 予想 | 前回 |
|------|-------------------------|--------------|-----------|
| 9月5日 | 10:45 中 財新・サービス業/総合PMI | 8月 -/- | 51.7/51.9 |
| | 11:30 日 黒田日銀総裁、講演 | - | - |
| | 16:50 仏 サービス業/総合PMI・確報値 | 8月 52.0/51.4 | 52.0/51.6 |
| | 16:55 独 サービス業/総合PMI・確報値 | 8月 53.3/54.4 | 53.3/54.4 |
| | 17:00 欧 サービス業/総合PMI・確報値 | 8月 53.1/53.3 | 53.1/53.3 |
| | 17:30 英 サービス業/総合PMI・確報値 | 8月 50.0/50.8 | 47.4/47.5 |
| | 18:00 欧 小売売上高(前月比/前年比) | 7月 0.5%/1.8% | 0.0%/1.6% |

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

| 通貨ペア | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY |
|-------|---------------|---------------|---------------|
| 想定レンジ | 103.50-104.50 | 1.1100-1.1200 | 115.00-116.50 |

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場のドル/円相場は、堅調な展開となった。米8月雇用統計は、市場予想を下回り、一旦はドル売りで反応し、102.80円まで下落。しかし、労働市場が引き続き回復基調にあることが確認されたことで、ドル買い優勢に転じると、104.32円まで上昇した。本日のドル/円相場は、底堅い展開を予想する。本日は、米国がレイバーデーで休日となる中、積極的な取引は手控えられると想定されるが、今月のFOMCでの利上げ期待は残存しており、ドルの底堅い展開を予想したい。